



2020年10月15日

各位

会社名 R P A ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役高橋知道
 (コード番号: 6572 東証第一部)
 問合せ先取締役松井哲史
 (TEL 03-5157-6388)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年10月15日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年4月14日に公表した2021年2月期（2020年3月1日～2021年2月28日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2020年3月1日～2021年2月28日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	11,000 ～12,500	300 ～700	250 ～650	0 ～220	0.00 ～3.77
今回修正予想（B）	11,000 ～12,500	420 ～700	370 ～650	33 ～220	0.57 ～3.77
増減額（B－A）	—	120 ～—	120 ～—	33 ～—	
増減率（％）	—	40.0 ～0.0	48.0 ～0.0	—	
（参考）前期連結実績 （2020年2月期）	10,070	471	382	17	0.31

2. 修正の理由

当事業年度の業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる先行きの不透明感が極めて強い状況下において、業績に及ぼす影響を算定することが困難な状況のため、レンジ形式により開示しておりましたが、2021年2月期第2四半期が経過し、下限シナリオからの上振れ分をレンジの下限に反映する修正をいたしました。

ロボットアウトソーシング事業においては、新型コロナウイルスによる企業業績の不透明さにより、企業の外注費用は抑制傾向にあり、コンサルティング・エンジニアリング等の受託型案件の受注の減少が引き続き想定されるものの、新規ライセンスを導入する企業は回復傾向にあります。当社はライセンス収入によるストック収入を拡大していく方針ではありますが、コンサルティング・エンジニアリング等の受注の減少を短期的にはカバーしきれないため、売上高は減少する見通しです。一方で、利益面については、ストック収入増加及びコスト構造の見直しを進め、改善が見込まれます。ロボットトランスフォーメーション事業においては、人材カテゴリは企業の採用活動が停滞していることで引き続き慎重な見通しであるものの、金融、通信などその他のカテゴリはコロナウイルスによる影響は大きくなく、引き続き順調な伸長を見込むことができる状況です。

この結果、レンジの下限の営業利益予想を120百万円増の420百万円、経常利益予想を120百万円増の370百万円、当期純利益予想を33百万円増の33百万円に修正いたしました。

なお、今後の感染拡大や収束の状況等によって業績は大きく変動する可能性があります。業績予想の修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

以 上